

図書館だより



令和4年5月発行
栃木県立宇都宮南高校図書委員会
担当：3の1、3の2、
3の3、3の4

担当：3-1

5月に入り、夏の気配が近づいてきました。

皆さんは、ゴールデンウィークは楽しめたでしょうか。「五月病」真っ最中の方も居ると思います。そんな方は、少しでも自分をいたわってみてはどうでしょうか。

読書はジャンルによりますが、心が温まったり、これから頑張ろうと思える力を与えてくれます。図書館には様々な本が置いてありますので、活用して自分にあった本を見つけてみてください。

4月クラス別貸出冊数

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	合計
1年	73	68	64	56	50	64	51	55	481
2年	システム更新作業中のため、2・3年生は学年総数								66
3年									53
合計									600

図書委員おすすめの1冊

皆さんは、「多様性」と聞くと、どんなことを思い浮かべますか？「性別に関係なく」や「みんな違ってみんな良い」などの言葉が思い浮かぶと思います。今回は、そんな「多様性」について問題提起をした傑作であり問題作でもある朝井リョウさんの「正欲」を紹介します。

2022年の本屋大賞の一冊でもあるこの作品。ある1人の事故死をきっかけに、登場人物達の想いや境遇が交錯します。

この作品を読んだ後は、「多様性」について今一度考え直してはいかがでしょうか。

現代でフラットに使われている「多様性」という言葉は、一言で言い表すことが難しいと感じるはずで。

興味があったら是非読んでみてください。



実体験をもとにした本

担当：3-2

「ふたご」 藤崎彩織

あなたにとって大切な人はどんな人ですか？

人間関係がうまくいかない主人公夏子は中二の冬、人生を良くも悪くも変えてくれた月島と出会う。異彩な月島にめちゃくちゃに振り回されながらも必死に生きていく夏子の結末とは…

この本は SEKAINOOWARI の藤崎彩織さんが実体験をもとに書いた小説です。自分のことを大切に思ってくれている人ってどんな人だろう、大切だと思う人はどんな人だろう。と考えさせてくれる本です。

共感できる場面がたくさんあって少し思い悩んだとき、味方になってくれる本なのでぜひ手に取ってみてください。



「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話」 坪田信貴

ビリギャルの愛称で有名な作品

高校三年生のさやかちゃんが慶応大学を目指し、合格するまでのお話。

坪田信貴塾長から語られるさやかちゃんの成長を読んでみませんか？

映画では語られていない部分や、実際のおすすめの勉強法が書いてあり、物語としてはもちろん、勉強のハウツー本としてもおすすめできる一冊です。

「学校に行けなかったわたしが「あの花」「ここさけ」を書くまで」 岡田麿里

「あの日みた花の名前を僕達はまだ知らない。」や「心が叫びたがってるんだ。」の生みの親である岡田麿里先生の初めての自伝。

原作があるアニメが多い中オリジナルアニメで有名作を生み出した岡田先生が学生時代登校拒否児だったことや、アニメ界を代表できるほどの有名作ができるまでの裏話などが記されています。

「あの花」や「ここさけ」を見たことがある人にぜひ読んでほしい一冊。

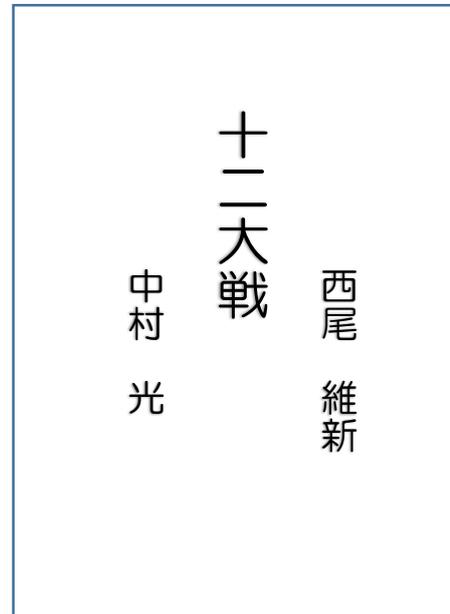
学校に行けなかったわたしが
「あの花」「ここさけ」を
書くまで
岡田麿里

図書委員オススメ本

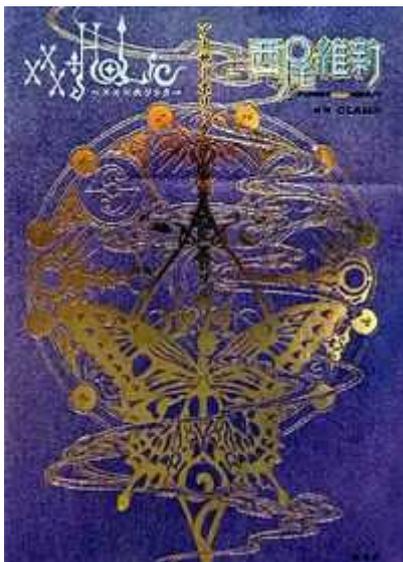
担当：3-3

「十二大戦」 西尾維新

- 子の戦士 『うじゃうじゃ殺す』
- 丑の戦士 『ただ殺す』
- 寅の戦士 『酔った勢いで殺す』
- 卯の戦士 『異常に殺す』
- 辰の戦士 『遊ぶ金欲しさに殺す』
- 巳の戦士 『遊ぶ金欲しさに殺す』
- 午の戦士 『無言で殺す』
- 未の戦士 『騙して殺す』
- 申の戦士 『平和裏に殺す』
- 酉の戦士 『啄んで殺す』
- 戌の戦士 『噛んで含めるように殺す』
- 亥の戦士 『豊かに殺す』



十二大戦に勝利した者は、どんな願いもたったひとつだけ叶えることができる。
どの戦士が生き残るのか、はたまた全員死んでしまうのか。
エグリバディ・クラブ・ユア・ハンズ！



「XXXHOLiC」 西尾維新

アナザーホリック ランドルト環エアロゾル

今年、柴咲コウ・神木隆之介主演の
実写映画にもなった人気漫画作品
『XXXHOLiC』のノベライズです。

原作にはない新しいストーリーで、
ファンの方も楽しく読破できます。
西尾維新が書く摩訶不思議な世界、
読んでみませんか？

おすすめ！ ディズニーの本

担当：3-4

「ディズニーの絆力」 著者 鎌田洋

この本には、ディズニーランドのキャストとゲストの交流を通して、人間関係を改善するヒントがつつられています。ディズニーの裏側を知ることによってディズニーの素晴らしさを学ぶことができ、なぜここまで人気になったのかが分かると思います。また、この本は4つの章に分かれて書かれており、読みやすいのでおすすめです。



『ディズニー 夢をかなえる神様が教えてくれたこと』 著者 鎌田洋

この本は『ディズニーの神様』シリーズの8作目になっています。このシリーズの本はすべて学校図書館に置いてあります。1冊の中に3つの話が入っています。実際にあった話に基づいて描かれていて、どの話も感動するものばかりでおすすめです。



『真夜中のディズニーで考えた働く幸せ』 著者 鎌田洋

この本は28歳でディズニーの世界で働くことに憧れ、三年という歳月を経てカストーディアル(清掃員)として入社し、開園当初から15年間働いた、著者の体験談です。

ディズニーに憧れそこで働きたいと奮闘するも採用試験に落ち続け、5回目にしてやっと入社できたものの、配属先はまさかの清掃部門となり、落胆とともにディズニーの仕事が始まりましたが、一人の尊敬すべき人と出会って意識が変わっていき、その後ディズニーで働いていく中で著者が考えた「仕事」と「人生」の意味について語られています。

